

一般社団法人山口県医師会平成27年度第10回理事会

平成27年8月20日(木) 午後5時44分～午後8時4分

小田会長、吉本・濱本副会長、河村専務理事、弘山・萬・林・加藤・藤本・
今村常任理事、武藤・沖中・香田・中村・清水・原・舩津理事、山本・藤野監事

協議事項

1 第2回都道府県医師会長協議会の議題について

在宅専門診療所の要件緩和についての議題を提出することに決定した。

2 中国四国医師会連合常任委員会の議題について

新たな議題は提出しないことが決定した。

3 平成28年度中国四国医師会連合総会について

来年度、本会の引受けで開催する標記総会並びに各種研究会のプログラム構成について協議を行った。

4 医療事故調査費用保険(100床以上の病院)について

損害保険ジャパン日本興亜(株)において医療事故調査費用保険(100床以上の病院用)が創設されたことから、本会が窓口となり、県内各病院へパンフレット等を送付し、案内手続きを開始することが決定した。

5 児童虐待の発生予防等に関する研修会について

地域保健事業の児童虐待対策として、本会と山口県産婦人科医会の共催で10月4日(日)に山口県医師会館において標記研修会を開催することが決定した。

6 第23回世界スカウトジャンボリー大会参加者における侵襲性髄膜炎感染症(髄膜炎菌感染症)の発生について

第23回世界スカウトジャンボリー大会の参加者が帰国後に髄膜炎菌感染症と診断された。13日：山口県健康増進課から情報提供(非公式)、14日：厚生労働省から山口県、本会、山口県病院協会に情報が通知されたことから、各保健所を通じて休日当番医及び救急告示医療機関に周知が行われた。また、日本医師会からも当該2府県と開催県(京都・兵庫・山口)に通知があったことから、15日：本会より各郡市医師会長及び本会役員へ情報提供を行った。19日：厚生労働省通知により別途発病者の疑いの情報提供もあり、本日までの一連の対応について経過報告を行った。今後も山口県並びに厚生労働省通知等により対応していくことが決定した。

報告事項

1 山口県ジェネリック医薬品安心使用促進協議会（7月16日）

ジェネリック医薬品の使用状況及び平成27年度事業計画（案）等について協議を行った。（林）

2 都道府県医師会情報システム担当理事連絡協議会（7月23日）

「医療介護連携時代と日本医師会のICT戦略」「医療IT委員会の検討経過報告」「ORCAプロジェクトの現状と今後の事業体制」「医療分野等ID導入に関する検討委員会中間とりまとめ」「医師資格証の現状と今後の予定」に関する報告及び説明があり、その後、質疑応答が行われた。（今村）

3 社会保険医療担当者集団指導（7月23日）

中国四国厚生局及び山口県の共同による各種集団指導と併せて、本会が全医療機関を対象に実施する集団指導（隔年出席制）を下関市で開催した。本年度より県内3か所（周南市、下関市、山口市）で開催されることになっている。（清水）

4 日医第6回医事法関係検討委員会（7月24日）

会長諮問「医療事故調査制度のもとにおける医師法第21条の規定の見直しについて」の協議が行われた。（林）

5 第11回日医男女共同参画フォーラム（7月25日）

「共同から協働へ～多様性を生かしたワークシェアリング～」をメインテーマに徳島県医師会の担当で開催された。午前中は、日医男女共同参画委員会及び日医女性医師支援センターの事業報告、小室淑恵氏（株式会社ワーク・ライフバランス代表取締役社長）による基調講演「あなたが輝く働き方～秘訣はワーク・ライフバランス～」が行われた。午後は、メインテーマに関する「日本の現状と課題」及び「国際比較、いま世界では」について、それぞれの立場から講演を行うシンポジウムが行われ、その後、「第11回男女共同参画フォーラム宣言」が採択された。次回担当は栃木県医師会。（濱本、今村）

6 第28回全国有床診療所連絡協議会総会 茨城大会（7月25～26日）

「今後の有床診療所のあり方―複数医師による有床診療所の運用の仕方―」をメインテーマに開催された。初日は、役員会・総会に続き、講演Ⅰ「日本医師会の医療政策」（横倉義武 日本医師会会長）、講演Ⅱ「今後の社会保障について～地域医療構想を中心として～有床診療所への期待」（二川一男 厚生労働省医政局長）、講演Ⅲ「診療報酬・介護報酬改定と有床診療所の役割について」（鈴木邦彦 日本医師会常任理事）が行われた。二日目は、特別講演「地域包括ケアシステムにおける診療所の役割」（田中 滋 慶応義塾大学名誉教授）に続き、シンポジウムが行われた。基調講演「複数医師による有床診療所のメリット」（井口 豪 厚生労働省

医療課課長補佐)に続いて、「単科で複数医師による有床診療所」及び「複数科による有床診療所」について各シンポジストから講演があり、その後ディスカッションが行われた。(河村)

7 第2回山口県糖尿病療養指導士講習会(7月26日)

「運動療法」「薬物療法1(経口糖尿病薬)」「薬物療法2(インスリン等)」「糖尿病患者の心理と行動」の講義が行われ、最後に確認テストを行った。受講者127名。(香田)

8 山口県動物由来感染症情報関連体制整備検討会第1回会合(7月27日)
平成27年度事業実施計画(案)について審議を行った。(今村)

9 山口県社会福祉協議会第1回地域福祉推進委員会(7月28日)

第5次福祉の輪づくり運動推進県域活動計画、第4次福祉の輪づくり運動推進県域活動計画の総括について報告後、平成27年度事業の進め方、各部会の事業等について協議を行った。(今村)

10 「JMAT やまぐち」災害医療研修会事前打合せ(7月29日)

「JMAT やまぐち」事前登録状況、山口県(行政)による災害医療コーディネーターの設置状況について報告があり、平成27年度の災害医療研修会の研修内容等について協議を行った。(弘山)

11 中国地方社会保険医療協議会山口部会(7月29日)
医科では、新規1件が承認された。(小田)

12 山口県議会との懇談会(7月30日)

5月の臨時県議会において新たな体制が決まったことから、諸問題について懇談を行った。(河村)

13 地域医療構想策定協議会第2回会議「山口・防府圏域」(7月30日)

山口県医療政策課から医療需要の推計結果について説明があり、その推計結果を基に医療提供体制等について検討が行われた。本会はオブザーバーとして出席した。(弘山)

14 第10回防府医師会男女共同参画部会総会(7月30日)

防府男女共同参画部会事業報告及び本会男女共同参画部会の活動状況報告後、特別講演「事業承継と相続税対策」が行われた。(今村)

15 性暴力被害者支援検討会議（7月30日）

本県及び全国の性暴力被害者支援の状況報告後、本県における実態調査を山口県産婦人科医会を通じて行い、病院拠点型の支援センターを目指して検討すること等が協議された。（濱本、今村、藤野）

16 山口大学医学部附属病院 病院情報システム監査（7月30日）

病院情報システムの概要説明後、運用規則等の整備、情報システムの運用管理状況、平成25年度監査指摘事項への対応状況について監査を行った。（藤本）

17 山口県医師会警察医会 第2回役員会、総会、第17回研修会（8月1日）

役員会では、総会の議事進行及び次回研修会について協議し、引き続き開催の総会において、平成26年度事業報告、平成27年度事業計画（案）が承認された。研修会では、山口大学法医学教授の藤宮龍也先生の講演「窒息論2」が行われた。参加者54名。（弘山）

18 第1回地域医療計画委員会及び地域医療構想関係者合同会議（8月1日）

厚生労働省のツールにより算定した医療需要の推計結果について、山口県医療政策課の國光課長から説明があり、その推計結果を踏まえ、将来のあるべき医療提供体制等について協議を行った。地域医療介護総合確保基金（医療分・介護分）については、山口県の各担当課から説明が行われた。また、本会が実施予定の「療養病床入院患者の医療必要度に関する調査」（案）について協力依頼を行った。（弘山）

19 医療事故調査制度施行直前セミナー（8月2日）

「医療事故調査制度の実施に向けての日本医師会の取組み」（日本医師会 松原謙二 副会長）、「医療事故調査制度における調査支援センターと医師会の役割」（日本医療安全調査機構中央事務局 木村壮介 事務局長）、「医療事故調査制度の仕組みと概要について」（厚生労働省医政局総務課医療安全推進室 大坪寛子 室長）の講演後、質疑応答が行われた。（林）

20 中国四国医師会連合医事紛争研究会（8月2日）

協議題6項目、日医への要望・提言3項目について協議を行った。（林）

21 医療事故調査に関する協議会（8月3日）

山口県内における医療事故調査体制の早期構築に向けて山口大学へ協力要請を行い、併せて情報交換を行った。（林）

22 第18回地方独立行政法人山口県立病院機構評価委員会（8月4日）

前回審議した、平成26年度における法人の業務の実績に関する評価結果の原案

及び平成 26 年度における法人の財務諸表に係る評価委員会の意見（案）等は、今回提示された素案のとおりとすることで承認された。（小田）

23 日医社会保険診療報酬検討委員会（8 月 5 日）

日医会長からの諮問事項「次期診療報酬改定に対する要望書」の内容について協議を行い、最重要項目の選定を行った。（萬）

24 広報委員会（8 月 6 日）

会報主要記事掲載予定（9～11 月号）、炉辺談話、歳末放談会、県民公開講座及びフォトコンテスト、tys「スパ特」のテーマ等について協議を行った。（今村）

25 会員の入退会異動

入会 4 件、退会 4 件、異動 9 件。（8 月 1 日現在会員数：1 号 1,305 名、2 号 879 名、3 号 415 名、合計 2,599 名）

26 医療廃棄物三者協議会（8 月 6 日）

電子マニフェスト統計情報及び感染性産業廃棄物処理に係る調査結果報告書等について協議を行った。（原）

27 個別指導「山口市」（8 月 6 日）

診療所 6 機関について実施され立ち会った。（萬、清水、船津）

28 第 2 回地域医療構想策定協議会「宇部・小野田」「下関」（8 月 6 日）

山口県医療政策課より医療需要の推計結果について説明があり、その推計結果を基に医療提供体制等について検討が行われた。本会はオブザーバーとして出席した。（河村・弘山）

29 山口県医師会・山口産業保健総合支援センター連絡会議（8 月 6 日）

平成 26 年度事業実施状況の報告及び 27 年度事業計画について協議を行った。
（藤本）

30 第 3 回山口県糖尿病療養指導士講習会（8 月 9 日）

「療養指導の基本（患者教育）」「ライフステージ別の課題と療養指導」「急性合併症」「慢性合併症 1（細小血管症）」の講義が行われ、最後に確認テストを行った。受講者 127 名。（藤本）

31 子ども医療費助成制度についての協議会（8 月 11 日）

地方単独事業（子ども医療費助成制度）の保険請求方法及び社保分を支払基金へ委託した場合の問題点等について防府市と協議を行った。（清水）

32 社会保険診療報酬支払基金山口支部幹事会（8月12日）

「第5回保険診療と審査を考えるフォーラム」の開催結果、本部による支部指導の実施状況等について報告が行われた。（小田）

33 日本医師会第5回理事会（8月18日）

HPV ワクチン接種後に生じた症状に対する診療の手引き、災害時こころの情報支援センター（DPAT 事務局機能）事業評価委員会等の報告及び第68回日本医師会設立記念医学大会被表彰者選考、ネパール大地震被害に対する支援金、新薬の収載等について協議を行った。（小田）

34 山口県警察官友の会理事会・総会（8月19日）

理事会において、平成26年度事業報告・決算報告、平成27年度事業計画・予算、役員改選（案）について決定し、その後開催された総会において審議、承認された。（小田）

35 コンベンション施設の整備に係る要望について（経過報告）

先般、山口市長に要望した標記のことについて、現在、拠点施設の実施計画を策定し整備事業を進行中であり、本会の要望内容については、民間業者の提案を経て着実に整備を進める旨の文書回答が行われた。

医師国保理事会 第8回

1 医療需要の推計等に係るレセプトデータ等の提供について

山口県医療政策課からの標記データの提供依頼について、前回の理事会で生じた確認事項に対する医療政策課の回答をもとに再審議した。データの暗号化作業の安全性や分析の妥当性を確認し、提供することを議決した。

2 傷病手当金支給申請について

1件について協議、承認。